

所 属 鳥取県漁業協同組合（淀江支所）  
氏 名 あかぎ まさみ  
赤木 真望（34歳）  
船 名 あかぎまる  
赤木 丸 4.1トン  
漁業種類 刺網、潜水、たこ壺、一本釣り



### ～移住を経験して～

広島県出身の赤木さんは高校生の頃から海に憧れを持ち、捕鯨船の乗組員として8年間を東京都で暮らした。その後、漁師として現在は淀江で暮らしている。

そんな赤木さんは平成24年に独立をして刺網、潜り、たこ壺、釣りで生計を立てている。「漁師は頑張った分だけ形として表れる。成果として見えることが何よりもうれしい」と話してくれた。しかし一方で、「他の地域から移住をして漁業を始めたため、何から何まで手探り状態で大変だった。暮らしていくこと、そして、漁師として仕事を覚えることの大変さを肌で感じた」とも話してくれた。

今では「淀江はとても住みやすく、これからもこの場所でずっと住み続けたい」と語る。今後の展望は他の魚種、漁法にも挑戦したいと意欲が強く、その熱心さでこれからの淀江を盛り上げてくれるに違いない。

### ～幼少期の原体験～

山間の田舎で育った幼少期に父親から教わった原体験。春は筍やタラの芽などの山菜を天ぷら、秋は松茸をご飯やお吸い物。今でも毎年のように旬の山の幸を採りに行くそうだ。自慢そうにみせてくれた写真には、松茸だけでなくニコリと笑う息子の姿が写っていた。

（文責：門脇 慧史）